

(別紙)

コレクション展内特集展示「コスモスの咲くとき - 地域に学び、平和を刻む教育版画の“いま”」に出品するべく、教育版画の一大傑作《車力農業史》(1973)を、当時小学生としてかかわっていた方々と共に刷りなおすことを行います。

当時の車力小学校に赴任していた佐藤宏生教諭の指導のもと、6年間指導を受けた学級生徒による全長30mにおよぶ版画絵巻である《車力農業史》とその一連の指導実践は日本教育版画協会主催の全国コンクールで特選に輝くなど、当時から着目されていました。車力村(当時)で300年におよぶ十三湖に由来する砂丘地帯の開拓と農業の発達を軸に村の歴史を彫るこの大作は今も見る者の目を捉えて離さない力強さがあります。

本展では《車力農業史》について当時の作品を展示するだけでなく、その世界観を今の時代に継承するべく、当時車力小学校生～五所川原南小学校生として関わっておられた藤田敏幸氏(元車力小学校長／元西北美術教育研究会長)らに本作の刷りなおしを依頼しました。そしてこの度、その刷りなおしの日時が決まりましたので、ご案内いたします。



先日程われた試し刷りの様子

刷りなおし期間：11月4日(火)、5日(水)、10日(月) 各日9:30～16:00頃

刷りなおし会場：県立美術館内ワークショップB

子どもたちが地域の歴史や風土に触れ、自らを成長させていった版画制作は時代を超えて私たちの心にも訴えかけるものがあるはずです。ご取材方なにとぞよろしくお願いいたします。